

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成24年9月6日(2012.9.6)

【公開番号】特開2011-44616(P2011-44616A)

【公開日】平成23年3月3日(2011.3.3)

【年通号数】公開・登録公報2011-009

【出願番号】特願2009-192592(P2009-192592)

【国際特許分類】

H 01 L 21/60 (2006.01)

H 01 L 23/12 (2006.01)

【F I】

H 01 L 21/92 6 0 4 H

H 01 L 23/12 5 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年7月19日(2012.7.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

導電性ボールを基板の所定位置に搭載するために、前記導電性ボールを挿通可能な複数の開口部が前記基板に応じた所定の配列パターンで配置され、前記開口部の上端周縁に、高さ方向よりも水平方向の距離が長く設定されたスロープ状のボール誘導部が形成された導電性ボール配列用マスクの製造方法であって、

母型の表面に、前記開口部に対応するレジスト体を有するパターンレジストを設けるパターニング工程と、

前記パターンレジストを用いて前記母型上に電着金属を電鋳し、電着層を形成する電鋳工程と、

前記レジスト体を除去し、前記開口部が形成されるレジスト除去工程と、

前記開口部の母型側周縁にスロープ状のボール誘導部を形成する電解研磨工程と、を有することを特徴とする配列用マスクの製造方法。

【請求項2】

導電性ボールを基板の所定位置に搭載するために、前記導電性ボールを挿通可能な複数の開口部が前記基板に応じた所定の配列パターンで配置された導電性ボール配列用マスクであって、

前記開口部の上端周縁に、高さ方向よりも水平方向の距離が長く設定されたスロープ状のボール誘導部が形成されていることを特徴とする導電性ボール配列用マスク。